

2022 (R4) .3.17

グローバル女性リーダー育成研究機構評価委員会

グローバル女性リーダー育成研究機構の 全体構想について



グローバル女性リーダー育成研究機構長
石井クンツ昌子

1. お茶の水女子大学の特色

- ・ 小規模ながら総合大学
- ・ 少人数教育による教育の質の確保

◆ 3学部14学科 (約2000名)



◆ 1研究科6専攻 (約900名)

-
- The diagram shows a central circle labeled '院' (Institute) connected to six research fields:
- 比較社会文化学
 - 人間発達科学
 - ジェンダー学際研究
 - 理学
 - ライフサイエンス
 - 生活工学

人間文化創成科学研究科

- ・ 保育園から大学院までが1つのキャンパスに

※附属学校 (約1680名)



2. お茶の水女子大学の歴史 ①

お茶の水女子大学は1875年に、女性のための日本初の官立の高等教育機関「女子師範学校」として設立

(1875)



Ochanomizu
History

(2022)



147年に亘って、
日本の女子教育をリードしてきました

3. お茶の水女子大学の歴史 ②

設立当初より、多くの女性リーダーを育成してきました



○ 安井てつ (1890年卒業)
英国ケンブリッジ大学&オックスフォード大学留学

○ 黒田チカ (1906年卒業)
英国オックスフォード大学留学
日本初の女子帝大生 (理学博士 1929年)



○ 保井コノ (1902年卒業)
米国シカゴ大学&ハーバード大学留学
日本初の女性理学博士 (1927年)



○ 湯浅年子 (1931年卒業)
仏コレージュ・ド・フランス原子核研究所留学
日本初の女性原子核物理学者
フランス国家学位 (理学博士) 1943年

○ 荻野吟子 (1879年卒業)
女子師範学校第1期生
日本の女医第1号 (1885年)



○ 辻村みちよ (1913年卒業)
日本初の女性農学博士 (1932年)

4. お茶の水女子大学のミッション

**学ぶ意欲のある全ての女性にとって
真摯な夢の実現の場として存在する**

日本の女子教育のパイオニアとして

- **多様な分野でグローバルに活躍する女性リーダーの育成**
- **開発途上国の女性たちをも含め、世界中の全ての女性たちの夢の実現を支援することを目指す**
- **女性の生涯にわたる生き方に関わるモデルの供給**

5. ビジョン（第三期中期目標期間）

第三期中期目標・中期計画のビジョン

「高度な専門知識」「適切に判断できる見識」「多様なあり方に対して寛容」であるグローバル女性リーダーを育成



人が一生を通じて健康で心豊かに過ごすための研究・開発による活力ある社会環境の創出

6. ビジョン達成のための取組

特色ある研究分野を融合した新たな組織の研究成果をもとに、
教育の高度化、国際・社会への還元を実現



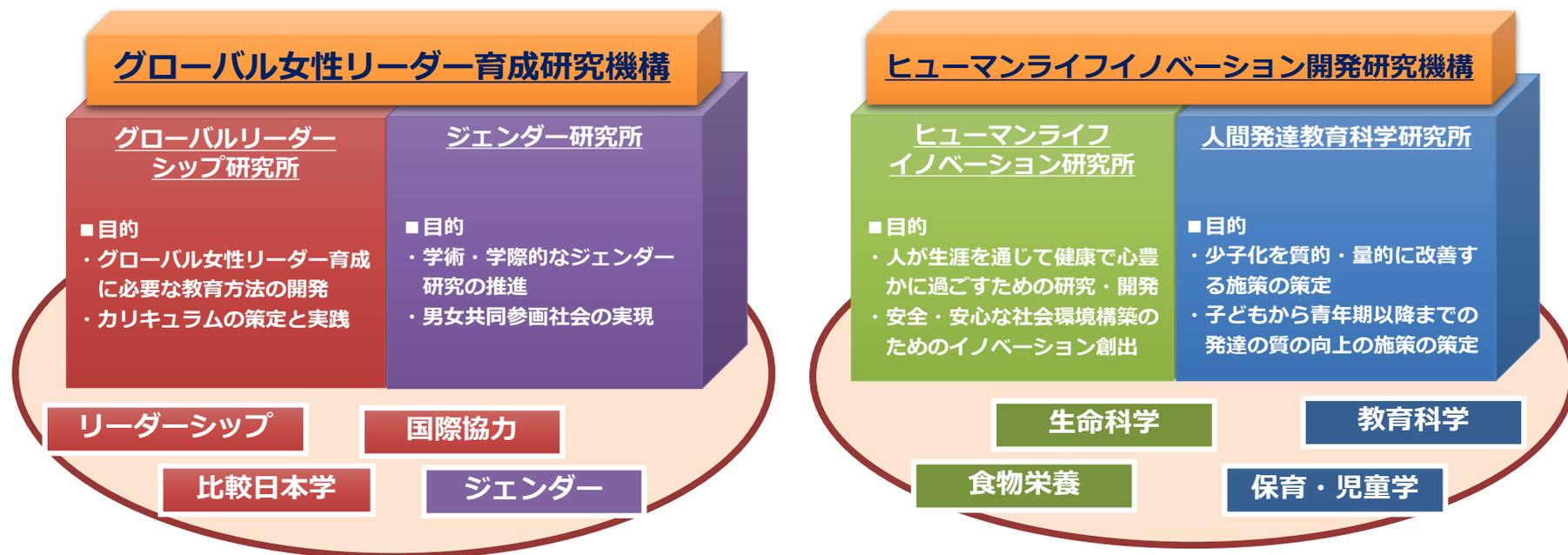
7. 戦略的研究組織

《グローバル女性リーダー育成研究機構》

国際的に活躍する女性リーダー育成のための国際的教育研究拠点形成

《ヒューマンライフイノベーション研究機構》

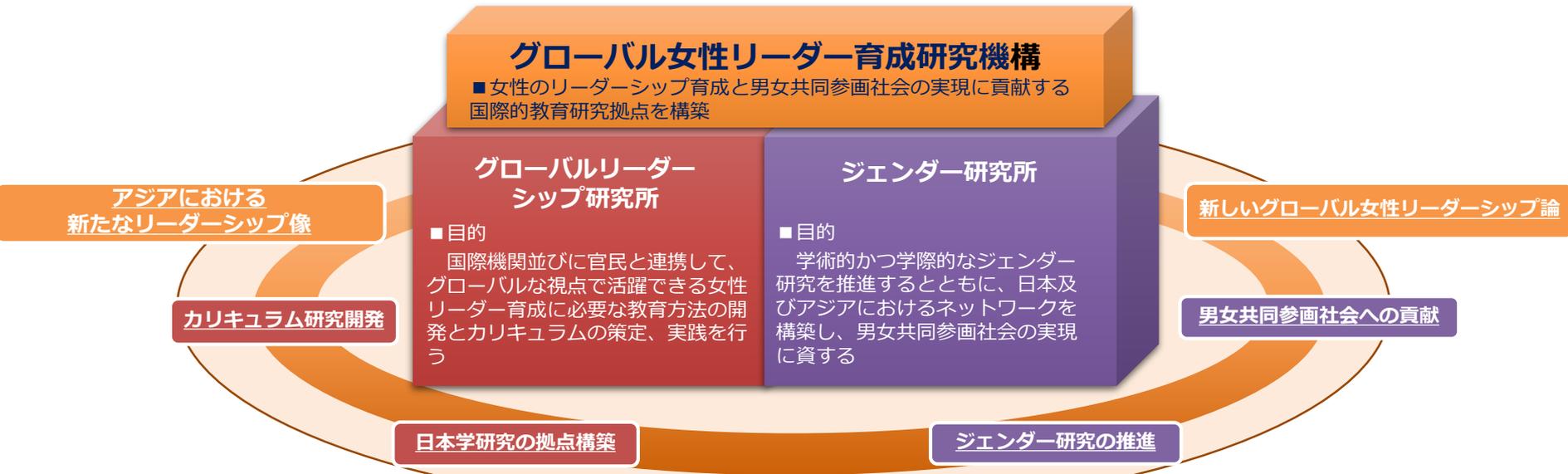
健康科学・人間発達科学分野における国際的教育研究拠点形成



本学の強みの研究分野を融合した戦略的研究組織

8. グローバル女性リーダー育成研究機構

国内外から女性研究者を招聘し、女性のリーダーシップ育成と男女共同参画社会の実現に貢献する研究教育を通じて、世界で活躍できる女性リーダーを育成



強み・特色を融合した戦略的研究組織

- 本学の強みのうち、グローバル女性リーダー育成に必要な分野を重点研究領域として融合
- グローバルリーダーシップ研究所とジェンダー研究所合同シンポジウムを開催、機構会議の開催

学内資源の重点配分による研究力強化

- 重点研究領域への教員資源配分（6名）
- 学内予算・スペースの重点配分

お茶大の強み・特色



- (H27) 教員組織改革
・全学の教員組織を一体化し、重点研究領域に再配置
- (H26) 事務組織改革
・学長支援体制の強化

本戦略を支えるガバナンス改革

9. 国際的教育研究拠点形成のための取組

戦略：グローバル女性リーダー育成のための国際的教育研究拠点形成

- ① **国際的ネットワークの拡大** ・重点研究領域で実績のある外国人女性研究者を招へいし、研究教育力を抜本的に強化
 ・国内外の機関との連携を拡大し、日本と世界を繋ぐ存在に



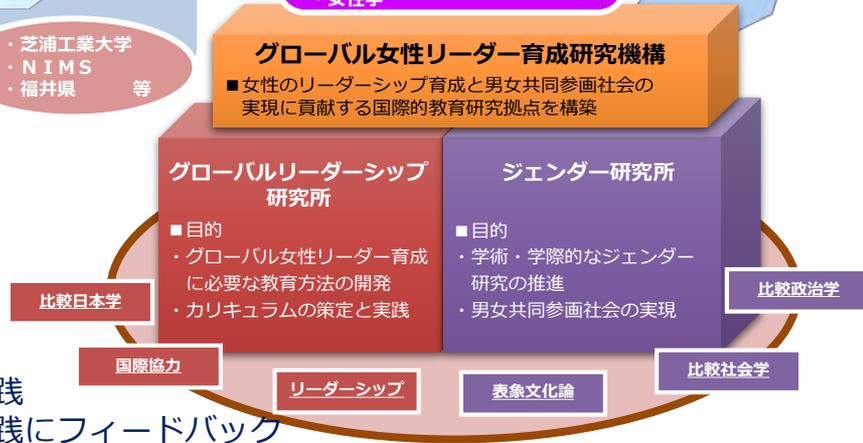
- 外国人研究者招へい**
- ・比較社会
 - ・日本社会分野
 - ・リーダーシップ
 - ・心理学
 - ・女性学
 - ・言語人類学
 - ・ジェンダー
 - ・経済
 - ・男女平等

② 新しいグローバル女性リーダー像の発信

- ・重点研究領域に関する国際共同研究を推進
- ・「アジアにおける新たなリーダーシップ像」の提案 (H30)
- ・「新しいグローバル女性リーダーシップ論」の構築 (R3)

③ リーダーシップ教育の実践

- ・研究成果に基づき開発するリーダーシップ教育カリキュラムを実践
- ・「リーダーシップ教育の効果検証指標」を開発・運用し、教育実践にフィードバック
- ・学部生、大学院生だけでなく、社会人女性、国際水準の女性研究者を育成
- ・外国人女性研究者による講義等を通じて、学生等の学びを深化



10. 評価指標の設定

戦略の達成状況を判断するために、第3期中期目標期間（H28~H33）における評価指標を設定

○国際的ネットワークの拡大

①平成33年度（令和3年度）までに
海外機関との連携を**10機関以上**行う

目標達成

14機関

※令和4年2月時点

- ・梨花女子大学（韓国）
- ・インドネシア大学（インドネシア）
- ・ベトナム女性学院大学（ベトナム）
- ・ノルウェー科学技術大学（ノルウェー）
- ・キングス・カレッジ・ロンドン（イギリス）
- ・オックスフォード大学サイドビジネススクール（イギリス）
- ・ストラスブール大学（フランス）
- ・パヴィア大学コッレージョ・ヌオーヴォ（イタリア）
- ・ミルズ・カレッジ（アメリカ）
- ・セントメアリーズ大学（アメリカ）
- ・ゴンザガ大学（アメリカ）
- ・トロント大学（カナダ）
- ・ヴィクトリア大学ウェリントン（ニュージーランド）
- ・オーストラリア国立大学（オーストラリア）

○新しいグローバル女性リーダー像の発信

③毎年度、重点研究領域に関する学際的国際
共同研究を**5件以上**実施する

目標達成

6件

平成28年度

6件

平成29年度

6件

平成30年度

6件

平成31年度
(令和元年度)

6件

令和2年度

6件

令和3年度

②国内外から毎年**10名以上**の
女性研究者を招へいする

目標達成

46人

平成28年度

44人

平成29年度

45人

平成30年度

41人

平成31年度
(令和元年度)

29人

令和2年度

44人

令和3年度

11. 研究成果による教育の高度化

グローバル女性リーダー育成研究機構の**研究成果**にもとづく教育効果と本学の**教育改革**を組み合わせることで教育の高度化を実現

○グローバル女性リーダー育成研究機構の研究成果

- ・グローバル女性リーダー育成カリキュラム開発
- ・グローバルリーダーシップ教育の実践
- ・国際水準の女性研究者の育成

○グローバル化に対応した教育改革

- ・四学期制の導入
- ・学士・修士一貫の複数学修トラック導入
- ・英語による授業の拡充
- ・高大連携

研究成果

教育改革

グローバル女性リーダーの育成